



国臨協関信

HP アドレス : <https://kanshinshibu.org>

関信支部ニュース第 231 号 令和 5 年1月

- 事務局／〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
国立国際医療研究センター病院
中央検査部門内
- 発行者／吉田茂久
- 編集委員／齋藤広樹 竹内智也 鷹取有紀
渡辺順也 飯田伊織
- 印刷所／一喜堂印刷株式会社 ☎0268-35-2624

国立病院臨床検査技師協会関東信越支部
支部長 吉田 茂久



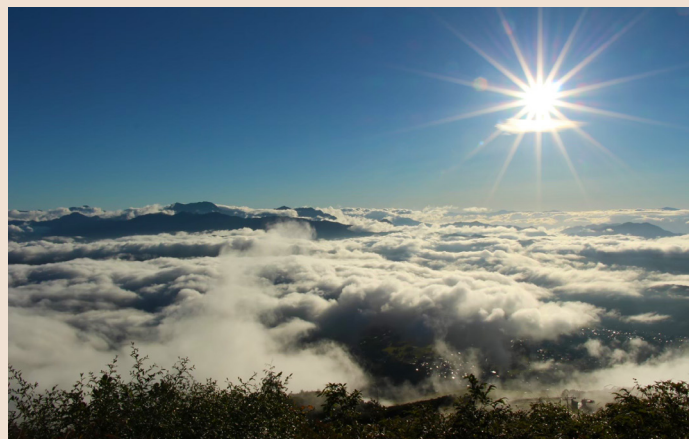
あけましておめでとうございます。
国臨協関信支部の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと謹んで喜び申し上げます。また、旧年中は多大なるご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。今年も旧年にも増してご支援を賜りますようお願い申し上げます。
さて、私たちは世界を席巻するコロナ禍の中3回目のお正月を迎えることとなりました。オミクロン株に対応した新たなワクチン接種の推進、徹底した感染防御対策と科学的知見の積み重ねに基づいた医療体制の整備、新たな内服薬の開発が進んでいる中で、私たちには with コロナ（新型コロナウイルスとの共存）を念頭において、新たな生活様式を取り入れながら、活発な社会・経済活動の両立を図ることが求められています。

しかし、感染力の高い新たな変異株の出現や年末年始の人流増加などによるインフルエンザウイルスの感染拡大などまだまだ油断はできず、気を緩めることなく「こまめな換気」、「マスクやフェイスガードの着用」、「手指衛生（手洗い・消毒）」、「体調管理」などの基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。基本的な感染対策を遵守することで職員間の感染を予防し、安定的な検査科運営体制の確保に努めていただければ幸いです。

本年も引き続き、働き方改革などへの適切な対応が求められます。日本臨床衛生検査技師会が主催している「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」の修了者も6,596名(令和4年9月現在)となりました。会員の皆様方におかれましては当該行為の現場での実施の如何に関わらず、国家資格への業務追加であるため既に資格を有しているすべての臨床検査技師の修了が望まれますので、もれなく受講されますようお願いいたします。

関信支部としては、令和4年度第2回研修会「タスク・シフト/シェアについて（基礎編）」をオンデマンド配信にて開催しました。今後も継続的に、「タスク・シフト/シェア」に関する研修会等を開催する予定で準備を進めてまいります。どうぞご期待ください。

本年も会員の皆様のお役に立てるよう、臨床検査専門職、技師長協議会、国臨協本部のご指導をいただきながら精一杯会務に努めてまいります。お力添えのほどよろしくお願いいたします。最後になりましたが、会員の皆様にとってより良い一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



「白馬のご来光」
NHO 東長野病院 内藤真由美氏

新年の御挨拶

NHO 関東信越グループ

医療担当臨床検査専門職 前島 基志



謹んで新春のお祝いを申し上げます
国臨協関信支部会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は皆様方より多大なるご支援とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。また、日頃より単身赴任や遠距離通勤を余儀なくされている皆様に対しましては、改めて心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、変異を繰り返し収束までにはさらに大規模な感染拡大が生ずることも懸念される新型コロナウイルスについて、これまでの感染対策の経験から、保健医療システムを機能させながら、社会経済活動を維持できるようにする「With コロナ」といった新たな段階に移行し、様々なイベントも再開され始めており、「After コロナ」への道が開かれようとする転機の年となったと感じております。

その一つとしましては、第50回国臨協関信支部記念学会は、サイバー空間を活用したWeb方式での開催で、「EventIn」を用いて参加者同士がコミュニケーションの促進を図ることが出来る新しい方法で実施され、盛況のうちに終了いたしました。

また、新型コロナウイルス第7波後の感染者減少時期に一致した第76回国立病院総合医学会(熊本)は、3年ぶりの対面式現地開催が実現し、5,000名弱の方々に参加いたしました。

タスク・シフト/シェアを推進するために追加された10行為につきましても、その講習会の開催は昨年以上に多くなることが予測されます。受講の機会も増えますので、積極的な受講とその促進をお願いいたします。

この様に、順次再開される集団での活動等に、皆様方が乗り遅れることの無いよう、そして「With コロナ」による効果を実感できるように、私としまでも今まで以上に情報発信に努めてまいりたいと思っております。

最後になりますが、各地区会等でもお話をさせていただきましたが、昨年は機構等職員が関与した贈収賄に関する報道が散見されました。今後は同様な事件を決して起こさぬように、皆様には綱紀粛正の徹底をお願いいたします。

その上で、医療従事者として、身だしなみや患者接遇の向上、日々進歩する医療へ対応するための自己研鑽など、自覚を持って業務にあたっていただきたいと思います。

本年が皆様方にとって素晴らしい年になることを祈念して、新年のご挨拶といたします。

新年を迎えて

茨城地区会会長 熊谷 豊



明けましておめでとうございます。国臨協関信支部の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。新型コロナウイルス感染症のため、5月の第42回国臨協関信支部茨城地区会定期総会が中止となり書面決議にて茨城地区会会長を仰せつかりました。茨城地区会を代表いたしまして新年のご挨拶を申し上げます。

茨城地区会は3施設から構成されておりますが、感染拡大により活動自粛を余儀なくされ、他施設の地区会員の皆様と顔を合わせる機会が得られず、残念な状態が続いております。一日も早くコロナ前の平穏を取り戻し、各種事業が集合型開催出来ることを切に願います。また、関信支部ホームページに掲載されております茨城地区会会報誌「いばコミ」を作成し新人会員の紹介や茨城県の魅力を発信していきますので、会員皆様にご覧いただきますよう、よろしくお願いいたします。

今年もタスクシフト／シェアへの取り組みや臨地実習指導者への対応、そして人材育成と課題は山積しておりますが、茨城地区会としてどのような取り組みができるか、検討していきたいと思います。

最後になりますが、この新しい年が関信支部会員の皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

栃木地区会会長 宮澤 寿幸



明けましておめでとうございます。栃木地区会を代表して新年のご挨拶を申し上げます。

初めての会長という大役を仰せつかり、どのように会の運営を進めて行こうか戸惑っているところであります。しかも、ここ数年の新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、地区会行事（特に集合型の交流会や親睦会）がどの地区でも実施できない状況が続いており、研修会もWeb開催が当たり前となり、対面で会話することが減少しています。検査技師において、コミュニケーションと協調性は、必須であります。対面で会話することでコミュニケーションスキルは向上すると考えます。地区会活動を通じ、技師のコミュニケーションスキル向上に貢献できるよう努力していく所存です。そのための第一歩として状況が許せば、本年こそ集合型での栃木地区会の交流会、親睦会を再開したいと思っています（建前）。私自身、栃木県での生活は初めてということもあり、栃木の地域や皆様との交流を通じ、那須高原や日光の観光やいちご狩りなど大いに楽しめれば嬉しいです（本音）。

最後に関信支部役員ならびに会員の皆様のご健康とご活躍をお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。

群馬地区会会長 新谷 和之



謹んで新年のお慶びを申し上げます。国臨協関信支部の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。群馬地区会を代表いたしまして新年のご挨拶を申し上げます。

今年の干支は「癸（みずのと）卯（う）」です。兎には跳ねる特徴があるため、景気が上向きに跳ねる、回復すると言われており、縁起の良い年として知られているようです。また、おとなしく、穏やかなイメージから安全の象徴としての意味も持っています。新しい生活様式が実践され、日常を取り戻すフェーズに入った現代において、「飛躍」「安全」を象徴する干支はとても縁起の良いアイコンになるのではないのでしょうか。

さて、群馬地区会の事業については、集合型でのイベントの開催は昨年度も中止を余儀なくされました。そんな中7月に開催されたWeb研修会では各施設から検査科や周辺地域の紹介をプレゼンテーションしてもらい、おすすめのスポットや名店を知ることができ、大変有意義なものになりました。当日のプレゼンテーション資料は関信支部HPの地区会コーナーより閲覧できますので、各施設の力作をご覧ください。

群馬県は今年5月に開催される第72回日本医学検査学会のホストを担っており、72回の歴史の中で、群馬県での開催は初めてとなります。群馬地区会施設からも実行・実務委員に複数名の会員が任命され、魅力ある学会を目指し準備を進めております。群馬県には上毛三山などの山々や、尾瀬、利根川などの清流といった豊かな自然、草津や伊香保、水上、四万をはじめ、たくさんの温泉があります。学会で英知を養い、自然や温泉で癒しと寛ぎのひと時をお過ごしいただければ幸いです。

最後になりますが、本年も関信支部の発展と会員皆様のご健勝と活躍を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

埼玉地区会会長 小沼 進吉



新年あけましておめでとうございます。関信支部会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和4年9月に開催された第9回定期総会（書面表決）において会長の大役を仰せつかりました。埼玉地区会は4施設45名の会員となっております。第1回理事会をメール会議で開催し、役員もあらたに令和4年度事業方針に則り進めて参ります。さて、新型コロナワクチンの3回目接種完了者は、高い割合となり、オミクロン株対応2価ワクチンの接種も開始されました。世間一般には感染症対策の規制が緩和され、コロナ禍以前に戻った様ではありますが、未だ感染者数は下げ止まり、一週間平均比では増加傾向を示しています。今後、社会経済活動の活発化による接触機会の増加等が感染状況に与える影響にも注意が必要です。さらに季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されているところです。それで

も我々は、医療人としての自覚を持ち、引き続き感染対策に注力していかなければなりません。新型コロナ感染症の終息が未だ見えない中、Webを利用した研修会や会議等、当たり前のように普及してきました。地区会としては連携を密にとり情報交換しつつ会員の学術・技能の向上と施設相互の交流・親睦を図る目的の達成に向け、役員一同地道に進めていく所存でございます。

最後に、本年が関信支部会員の皆様にとって素晴らしい年になりますよう心より祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

千葉地区会会長 山川 博史



新年明けましておめでとうございます。国臨協関信支部会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

千葉地区会は6施設で構成され、会員数110名で活動しております。

昨年の活動としては7月2日に定期総会を開催し、同日に開催した研修会ではオーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社の吉田純平先生から「夜間当直帯の輸血対応」についてご講演いただきました。また、NHO 関東甲信越グループ 前島臨床検査専門職には「伝達事項並びに会員の皆様へ」と題してNHOの活動等についてお話していただきました。

国臨協関信支部学会も50周年という節目の記念学会となりました。Webでの開催ではありましたが今回は新たなプラットフォームを使用し、参加者同士のコミュニケーションが取れるより集合型に近い学会となりました。関信支部役員の方々のご尽力に、心より感謝申し上げます。

国内では新型コロナウイルス感染症の動向が不透明な状態の中、社会経済活動の正常化に向けた動きが進みました。一方、ウクライナ情勢の緊迫化や急激な円安に伴う資源価格や原材料価格の高騰により経済的な混乱が起き病院経営にも影響を及ぼしております。

先行きは依然として不透明な状況ですが、千葉地区会では、会員の情報の場と親睦を深める会を目指し、役員一同活躍いたしますのでご支援をお願いいたします。

最後になりますが、関信支部役員並びに会員皆様のますますのご発展とご活躍を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

東京地区会会長 前澤 直樹



あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。年頭にあたり東京地区会を代表してご挨拶申し上げます。

昨年10月28日の令和3年度第9回定期総会書面表決において、山崎会長の後任として会長職を拝命いたしました。ご存知のように東京地区会は5施設、会員数133名と最も大所

帯な地区会です。ここ数年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず活動制限されていましたが、過去にはボーリング大会やビール工場見学、パーベキューなど、今となっては耳にするだけでわくわくするような文化活動が行われていました。

地区会員の中には、Web研修会の利便性に慣れ、集合型参加や文化活動への参加を煩わしく思っている方もいるかと思いますが、地区会本来の在り方は、近隣の施設間でのコミュニティの場（共同体意識を持った人々の集団、地域社会、共同体）を作ることだと思っています。しかし、最近では会員同士の顔も名前も知らない若い方が増えていることが懸念されます。今般、我々を取り巻く環境は大きく変化し、タスク・シフト／シェアや臨地実習指導への対応など、取り組むべき課題は山盛りです。しかし、そんな難しい問題は是非とも関信支部に頑張ってください。地区会は、そろそろ止まっていた活動を再開し、（もちろん感染状況に鑑み、感染防止対策を徹底して）可能な範囲で少しでも楽しめる事業を計画したいと思っています。

最後になりますが、本支部ニュースがお手元に届くころ第8波の爆発的感染拡大が起きていないことを願うとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

東京・山梨地区会会長 澤部 祥子



明けましておめでとうございます。国臨協関信支部会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。東京・山梨地区会を代表してご挨拶申し上げます。

長引くコロナ禍で各施設とも大変なご苦労をされていることと思います。昨年は年明け早々の第6波、夏の第7波と感染拡大があり、職員が感染したり濃厚接触者となってしまう、業務に大きな影響が出た施設も多いと聞きます。また、上海のロックダウンによる影響で採血管の供給が滞り、代替品の調達に奔走された施設もあると思います。更に、この冬はインフルエンザとの同時流行も危惧され、多くの施設がその対応に尽力されていることでしょう。今年こそはコロナに振り回されない日々が戻ってくることを願ってやみません。

さて、東京・山梨地区会は、昨年7月に開催された第9回定期総会にて新執行部が承認され、最初の活動としての第50回国臨協関信支部記念学会の地区会ポスターコーナーにて優秀賞を頂くことができました。昨年の最優秀賞までは手が届きませんでしたが、2年連続の受賞ということで、大変うれしく感じています。コロナ禍で会員の交流が難しい中でも地区会の活性化につながり、とても励みになります。まだまだ以前のような交流活動は難しいですが、Webなどのコロナ禍故に発展した文明の利器を活用しながら地区会の活性化を図っていきたいと考えています。

最後になりますが、国臨協関信支部の益々のご発展と会員皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

神奈川地区会会長 植松 明和



明けましておめでとうございます。関信支部会員の皆さまにおかれましては、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。神奈川地区会を代表して新年のご挨拶を申し上げます。

神奈川地区会は5施設69名の会員で構成され、昨年10月の第41回定期総会を経て新執行部により令和4年度がスタートしております。承認された事業計画案に基づき、円滑な運営を図っていきたいと考えております。

With コロナ時代の到来により、今年度は少しでも参集型の勉強会や話し合いの場が提供されることを願っております。今年の干支である卯年の「卯」という字は、左右に開かれた門の形から出来たと言われており、閉じていた門が開き「とび出る」という意味があるとされています。また、祭りごとの際に生贄として捧げる肉を2つに裂いた形から出来たとされ「分ける（区切る）」という意味を持つ説もあるそうです。まさしく、外にとび出して勉強会に参加し、他院のスタッフと交流したり、ハイブリッド開催の学会に現地 or Web 参加して研究への理解を深めたりするのにはピッタリの年ではないでしょうか。また、このように「とび出る」や「分ける」という意味から、卯年は「飛躍する」年や時代の区切り、「契機になる」年と言われるそうです。新しいことを始めてみましょう。

最後になりますが、本年も国臨協関信支部の発展と会員皆様のご多幸と益々のご活躍を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

新潟地区会会長 渡辺 靖



新年明けましておめでとうございます。新潟地区会を代表して関信支部会員の皆様には新春のお喜び申し上げます。

昨年をロシアのウクライナへの軍事侵攻、北朝鮮の度重なるミサイル発射、新型コロナウイルスの繰り返される感染拡大、安倍元首相の射殺事件、物価上昇と明るいニュースがあまりなかった1年だと感じております。特に国家レベルの指導者の思想や考え方で、物事が大きく変化すること、その変化が様々な部分に影響を及ぼすことを強く感じる1年でありました。国家レベルとは言いませんが、指導者を職場長という立場に置き換えてみると組織の中でのその意味合いを再考する機会になったと感じております。この文章が皆様の目に触れる時には、軍事侵攻や新型コロナウイルス流行などの状況が良い方向に向かっていることを願うばかりです。

さて、昨年度の新潟地区会の活動状況ですが、会員の親睦を目的とした交流会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止、総会は、議案審議はメール開催、書面決議報告と前島臨床検査専門職による講演および中村関信支部理事による支部報告をWebで開催するというハイブリッド形式で行われました。会報誌「朱鷺っと」を3回発刊し、支部ホームページ

に投稿しました。今年も昨年同様、会員のスキルアップや親睦のために活動して参ります。私事ですが、3月をもちまして定年を迎えます。規約上4月より西新潟中央病院の新技术師長に会長職が引き継がれます。任期いっぱい頑張る所存ですので、よろしくお願いいたします。

最後に皆様のご健康とご活躍を祈念し、新年の挨拶と致します。

長野地区会会長 平原 博美



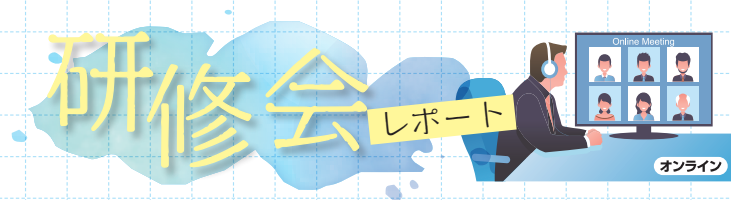
新年おめでとうございます。国臨協関信支部会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

長野地区会の4施設は車をとばして1時間半程あればどの施設にも行ける感覚の地域ですが、COVID-19の影響により昨年参集することができず地区会としての活動は制限されたままでした。感染者数の推移は地域毎に異なるため施設への立ち入り制限なども異なってしまう、参集のタイミングを計ることは難しい現状です。そのためニュース配信を主とした活動となっておりますが、双方向での情報交換とはなかなか言い切れず苦慮しております。長野の冬は氷点下のため屋外活動はよほど好きじゃないと外にでる第1歩に勇気がいりますが、自然の豊かさは冬ならではの絶景を作り出しますので、そんな情報も拾い集めながら、春を待ちつつ活動していきたいと考えています。

さてCOVID-19についてですが、世界にはマスクをつけない国や感染どころか戦火に耐え忍んでいる国もあります。日本の医療の現場においては変異株への最大限の警戒と対策検討を継続していますが、昨年8月は2年ぶりの“制限の無い夏休み”となり10月には海外からの旅行者に対する制限が緩和されました。各地で夏祭りなどの地域行事が復活し盛上がる様子が報道され、多くの笑顔がそれを待ちわびていたことを証明していました。制限の無い日常と制限を保たなければならない医療の現場との感覚的なギャップはいましばらく混乱が続くのかかもしれません。働き方改革という旗も振られている現代ですが、皆さんのスキルアップや自己投資は進んでいますか。コロナ禍で止まってしまった事や壊れたものもありますが、新たに持続可能な形に造り変えていけるよう知恵を絞る時かと思っています。今年はフランスでラグビーワールドカップが開催されます。とても現地には行けそうにありませんが、また桜のジャージを纏ったJapanが、その魂『ONE TEAM』で闘う有志を観られることがとても楽しみです。各種医療関連学会なども現地開催が復活してきていますので、皆様とお会いできるのはもうすぐでしょうか。

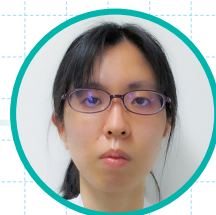
最後になりますが、本年も国臨協関信支部の益々の発展と会員皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

最後になりますが関信支部会員の皆様、お忙しい中でも支部活動を支える支部役員の皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げます。



令和4年度 臨床検査の精度及び品質確保推進研修会に参加して

NHO 横浜医療センター
宮川 真名実



令和4年9月16日に「令和4年度臨床検査の精度及び品質確保推進研修会」が開催されました。午前中の研修ではISO15189が第3版から4版へ改訂作業が進行しているということで、現行からの変更点について主に講義して頂きました。その内容は現在各病院にて使用されている手順書について今後必要とされる修正・改訂は要員の育成から精度管理など多くの項目に関わっていました。また午後の研修では各分野におけるISOに基づいた精度管理について、日常の検査トラブルや内部・外部精度管理などをピックアップして講演して頂きました。どの分野においても検査前～検査後のプロセスの実施、必要な環境の整備などISOに基づいた手順を確立・遵守することが適切な検査・輸血を行う上で重要な事だと再確認出来ました。

そして臨床検査の標準化などが求められる中、日臨技の品質保証施設の認証を受けている施設もありますが、今回その制度の審査の変更もISOに基づくような形で行われていると感じました。特に審査基準にありました標準化と精度の保証だけでなく、外部精度管理調査への積極的な参加による精度管理の保証、さらに是正・改善の慣例化の確認が求められるようになったことは検査室内の内部精度管理を適切かつ標準化しながら管理する上でとても重要だと思います。

今回研修に参加させていただき、ISOと臨床検査に関する多くの事を学ばせていただきました。特に精度管理に対する考え方やISOの要求事項を満たす具体的な運用方法の紹介は非常に参考になり、今後の検査室の運用に生かしていきたいと思います。

最後にご多忙の中御講義頂きました講師の方々、ならびにこの研修会を開催・運営して頂きました関東信越グループの皆様に厚く御礼申し上げます。

NHO 埼玉病院
齋田 栞



令和4年9月16日（金）テレビ会議システム Webex による臨床検査の精度管理及び品質確保推進研修が行われました。

午前中はISO15189規格改定による今後の審査についてご講義いただきました。改定中である第4版が、現行の第3版と比較しどこが変更になるのかをわかりやすく解説していただきとても参考になりました。私が在籍している埼玉病院はISO15189を取得しているため、改版後は手順書の修正が必要になると感じました。

午後は検体、輸血、細菌の検査における精度管理と、日臨技品質保証施設認証制度の変更点について各部門の先生方からご講義いただきました。精度管理とはなんなのか、ISO15189のどの要求事項に該当するのか、精度管理の方法や考え方をわかりやすく解説していただきました。業務中に遭遇する事例を基に講義をしていただいたため、知識の浅い私でも理解しやすく、原因追求や是正処置方法に関しての解説はとても勉強になりました。業務で携わっている細菌検査の精度管理の講義では、時間も限られているなか質問をさせていただき、目合わせの内容等をご教授いただきました。また、日臨技品質保証施設認証制度については変更点も多くありましたが、旧制度と新制度の違いを比較して解説していただきとても勉強になりました。

今回の研修を受講したことで精度管理の重要性、そして日々実施する意味を改めて実感することができました。研修で学んだことを今後の業務に活かし、患者様のために適切な検査が実施できるよう精進していきたいです。

最後になりましたが、お忙しい中ご講義いただいた先生方、また今回の研修を企画、開催してくださいました関東信越グループの方々に心より感謝申し上げます。

特集：救急現場のタスクシフト



国立国際医療研究センター病院
川口 港

外の関係職種で可能な限り業務分担が図られるよう検討され、日本臨床衛生検査技師会からも推進されている。また救急外来での多職種の配置・連携に関しては2次・3次救急医療機関606施設の医療職の勤務実態を調べた厚生労働科学研究の結果報告がある。それによると看護師以外の職種の常時配置は看護補助者21.8%、事務職員21.7%、臨床検査技師、診療放射線技師、薬剤師、臨床工学技士についての割合は数パーセントと低いことがわかっていてる。

当院では医師や看護師不足の影響による救急外来の人員不足と中央検査部門から起案した夜勤要員配置の提案がタイミングよくマッチし、検体夜勤要員とは別に2018年10月より救急外来で業務支援を目的として夜勤業務（14：00～7：30）を開始した。

夜勤業務を開始するにあたり、救急外来で臨床検査技師がどのように貢献できるのか、実際に検査技師を配置し臨床検査技師目線で業務の模索を行った。業務を模索する中で医師より依頼される検査は予想していたPOCT（インフルエンザ、Glu、Cre等）や血液ガス検査の他に心電図、超音波検査、脳波検査等の生理検査項目の要望が多いことがわかった。当初は検体夜勤要員を含めて、救急外来での夜勤配置を考えていたが、生理検査項目の要望が多いことを考慮し、生理検査室の要員13名で夜勤業務を行うことになった。

夜勤業務を行うにあたっては、救急医から要望のあった心電図、採血、血液培養採取、血液ガス測定、脳波（簡易モニター）、グラム染色の習得を必須とした。それに加え、現在はCOVID-19に対応した迅速全自動PCR検査（FilmArray®システム：バイオメリュー・ジャパン株式会社、GeneXpert®システム：BECKMAN COULTER）も必須としている。夜勤開始までの1カ月間で生理検査室要員13名のトレーニングを行った。また救急医療について救急医からの講義、血液培養採取については感染症内科の医師から実技講習等が行われた。

業務の主な流れは救急隊より2次救急および3次救急の連絡が入り、救急救命士および医師が患者情報カードに情報を記載する。（図1）患者情報には生年月日、名前、年齢、性別、症状、病歴、バイタルサイン、付き添いの有無、病院到着予定時刻が記載されフロア中央の患者情報共有ボードで情報共有を行う。患者情報を元に検査機器の準備や検査対応を行う。例を挙げると、胸痛であれば心電計、超音波装置等を準備、薬物乱用患者であれば尿中薬物検査キット、外傷であればFAST（Focused Assessment with Sonography for Trauma）対応等を行う。日常業務では検査を依頼され、目的に応じて検査を行うが、救急外来では患者情報から必要な検査や機器等の準備を行い、検査を行うまでが主な流れになっている。

患者が搬送されてきたら救急隊と共にベッドへ移乗し、モニター（心電図、SpO2、血圧）装着、体温測定を行う。その後、ほとんどの患者は点滴を行うため、静脈路確保と同時に採血が実施される。

特に3次救急の場合は、上記の業務がすべて同時に行われるため、コミュニケーションをとりながら迅速に処置の補助や検査の実施を行う。（図2）

検査室以外での臨床検査技師の活動は、多くの病院施設において一般的には実施されていない。今回救急外来で夜勤業務に携わった結果、実際には臨床検査技師の参画可能な業務が数多く存在していた。業務内容は当初より依頼されていた心電図などの検査業務が多くを占めたが、検体採取、輸血用血液製剤および検体搬送、縫合介助、導尿補助、院外心停止患者における胸骨圧迫など多岐にわたった。また検体採取（鼻腔・咽頭拭い液）についてはCOVID-19の影響により迅速全自動PCR検査や抗原検査を開始したことにより大幅に増加した。また院外心停止（out of hospital cardiac arrest：OHCA）の患者対応の際に胸骨圧迫を実施することもあるため、日本救急医学会認定BLSコースを夜勤要員全員が受講しており、CPR（心肺蘇生法 Cardio Pulmonary Resuscitation）に対応できるようにしている。

救急外来では、ある程度の知識と技術が求められる場面も多く、教育面が非常に重要である。例えば心電図の判読や超音波検査や脳波検査の所見を説明するなど、検査後に担当医へ検査結果を説明することも重要になってくるため、認定救急検査技師の育成や各スタッフのスキルアップが今後の課題である。臨床検査技師のスキルを活かしつつタスク・シフト／シェア（業務の移管）推進のため、今後も検査業務および処置業務等に技師が積極的に取り組んでいきたい。

日本臨床衛生検査技師会では法改正をうけてタスク・シフト／シェア（業務の移管）を推進する業務として、8項目が選定され、採血に伴う静脈路確保や電解質輸液（ヘパリン加生理食塩水を含む）への接続等をおこなっており、今後もなお一層救急医療現場での臨床検査技師の活躍が期待されると思われる。

OKB		60	5	1
Name	国際 太郎	B.D	S35	5.1
仕事中に胸痛 1h前～				
Vital signs	99% room			
1-1	160/85			
22	86.4℃			
114				
past history	高血圧、高脂血症			
Attendant	同僚			
		18:00		

- ・患者情報（症状）から検査機器の準備を行う
→優先順位を考え
臨機応変に対応

- ・例）胸痛
→心電図、心臓超音波
- ・例）外傷
→超音波検査（FAST）
- ・例）薬物乱用患者
→尿中薬物検査キット

図1 患者情報共有カード

患者情報、症状・バイタル、付き添いの有無や病院到着時刻が記載されている。



図2 3次救急対応例
胸骨圧迫や超音波検査は検査技師が対応することもある。

集まれ ★若手技師★

How about your work ▶▶

NHO 高崎総合医療センター
佐藤 美月



みなさん、はじめまして。
高崎総合医療センターに勤めています佐藤美月です。高崎総合医療センターに非常勤で1年勤め、翌年正職員で採用され1年が過ぎ、今年で3年目に入りました。

高崎総合医療センターに入職してから今まで検体検査室を担当し、日勤や夜勤も行っています。1年目は、検体の受付をメインに血液検査を担当し、半年後には採血室で採血を始めました。大学を出てから初めての採血で期間が空きすぎていて不安でいっぱいでしたが、患者さんの採血をする前に病院職員の健康診断の際に練習をさせていただいたことにより、採血に自信をつけることができました。しかし、実際の患者さんの採血では血管がとても細かったり、針を刺した時に押さえが甘くて逃げてしまうことがあり、失敗することが多々ありました。めげてしまいそうになることもありましたが、先輩技師や看護師の方にアドバイスを頂きながら頑張って採血することができ、自分なりに成長できた気がしました。今でも手背の採血は苦手なので、次の目標として失敗せずに採血できるように努力したいです。

2年目は正職員になり、生化学検査と輸血検査の担当をすることになりました。生化学検査では、試薬の交換について学び、機器のトラブルにも対応できるように日々努力しています。

輸血検査では、直接人命に関わり責任重大な業務なので、輸血検査に入った日はずっと緊張していました。そのため、何回も輸血担当者の人に質問したり、毎日帰ってから教わったことの復習をして、すぐに寝てしまうほどでした。それほど緊張していたのだと思いました。

日勤や夜勤を一人でできるように先輩技師から細菌検査の迅速検査や病理の塗抹標本などの作り方も教わりました。

実際夜勤にはいった時はすごくそわそわして一人で業務をこなせるか不安でしたが、自身で自作したノートや教わったことを思い出しながら夜勤業務を行っていました。ルーチン業務とは異なるイレギュラーな問い合わせや機器トラブルがあるので、知識やスキルを今以上に身につけ、迅速な対応ができるよう心がけながら日々の業務にあたって行きたいと思います。この時期コロナのクラスターなどが発生していたので、コロナのPCR検査を行えるように機械の操作など教わり、検査依頼に対して結果を報告することもできるようになりました。

3年目に入る今は、一般検査、生化学検査、血液検査、輸血検査すべての業務をできるように、ローテーションで検体検査内の担当場所を変えて、どこでも業務ができるようになりました。

機械のトラブルではいまだにわからないことが多いので、上司に教わりながら、少しずつ覚えていく最中です。新しい仲間が増え、後輩もできたので試薬の発注や消耗品の補充などが私が担当していた業務を円滑に引き継ぐため、マニュアルを作成の構成を練っている最中です。誰が見てもわかりやすいマニュアルを作れるよう頑張ります。

仕事ばかりでは、疲れてしまうので、私の好きな温泉や旅行に行く予定を立てたり、温泉の開拓をしたりして楽しみを作っています。しかし、コロナが流行してしまったため、出かけることも難しくなっていました。いまは、コロナのワクチン接種が進んだことによりコロナが落ち着いてきているので手指衛生などコロナに気をつけながら計画を立てて気分転換に旅行に行きたいと思っています。気持ちをリフレッシュさせて日々の業務に努めたいと思います。



目指そう! 認定資格で LEVEL UP



超音波検査士認定試験(循環器領域)

NHO 東京医療センター
三條 花奈



2021 年の 11 月に超音波検査士認定試験(循環器領域)を受験し、合格しました。

超音波検査士認定試験の受験資格は 3 年以上継続して超音波医学会の正会員、シニア会員、準会員のいずれか、または超音波検査学会の正会員であることが必須条件です。

超音波検査士には健診、体表臓器、循環器、消化器、泌尿器、産婦人科、血管の 7 つの臨床領域の資格があります。受験には検査実績(レポート)を 20 症例提出しなければなりません。循環器領域の場合には弁疾患 4 例以上、冠動脈疾患 4 例以上、心膜・心筋疾患 4 例以上、先天性心疾患 2 例以上、胸部大動脈解離あるいは胸部大動脈瘤 1 例ないし 2 例と、疾患別に提出症例の指定があるため、受験する場合はこれらの経験が必要となってきます。

試験内容は「臨床領域問題」と「医用超音波の基礎問題」で、それぞれ 35 問出題され、試験時間は 70 分ずつを 1 日で行います。実技試験はありません。試験に合格すると次の年は「医用超音波の基礎問題」が免除され、「臨床領域問題」のみの受験となります。私は、2019 年に超音波検査士(血管領域)を取得しているため、今回の受験は基礎が免除で(2020 年はコロナで延期)臨床領域(循環器)のみの試験でした。

私はルーチン検査で心臓超音波検査を実施していましたが、奥が深く必要な疾患や測定法について掻い摘んで勉強していてもなかなか理解が深まりませんでした。そのため、試験勉強をすることで自分に足りない部分を確認することができ、系統立てて知識を身につけられるのではないかと思い受験を決断しました。

ただ、転勤したばかりで生活環境も変わり、前回受験した時と同じようには勉強できないという状況で、勉強時間を作るのに苦労しました。しか

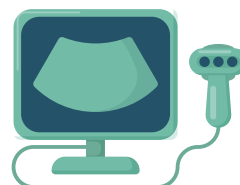
し前施設でお世話になった上司や先生に応援していただき、その期待に応えるためにも「絶対合格しなければならない!」という一心で、自分にプレッシャーをかけて頑張りました。

勉強方法は、教材を読んで重要な所をまとめ、繰り返し問題を解いていました。問題が解けるようになったら終わりではなく、出題方法が変わっても解けるように、知らない所を更に深掘りして調べたりしていました。勉強する際に使用していたテキストや教材は「超音波検査士・超音波指導検査士認定試験問題集」、「超音波検査医認定試験対策(基礎編)」、「心臓超音波テキスト」、「循環器超音波検査士への最短コース」、各ガイドラインなどです。

資格を取得するために勉強した良かったことは、超音波の基礎的なことから、計測した数値が何を表しており、またそれにより心臓がどのような状態になっているのかを考えるようになったことです。

実際の業務でも、「計測した数値が真の値か」のジャッジや、「追加でこれを計測しよう」など以前より考えて検査できるようになりました。まだまだ知らないことも沢山あるので、資格をとれたから終わりではなく、これからは継続して勉強していきたいです。

最後に、資格試験に挑戦することは、業務を深く理解する良いきっかけになるのではないかと思います。興味のある方はぜひ挑戦してみたいと思います。



会員のひろば

新しく始めたこと

NHO 災害医療センター
石井 香澄



皆様、趣味はお持ちですか？もしくは、最近新しく始めたことなどはありますか？

私はこの夏、ピアノを始めました。趣味はいろいろありますが音楽が好きで、小さい頃にピアノを習っていたからまたやりたいな〜…とかではなく、本当に未経験でピアノに飛び込んでいきました。中学時代吹奏楽部でトランペットを吹いていて、そういえば吹奏楽も音楽未経験で楽譜も読めない、譜面を見てもどれがドでこの記号は一体どんな意味なの？状態だったなあ、と今回この執筆依頼をいただいて思い出しました。

ここ最近は少しずつ出かけられるようになってきたように思いますが、やっぱりコロナ前のように好きなことが出来ず、少し落ち込んでいた時期がありました。何かやりたいなあ、新しい趣味が欲しいなあ、また音楽がやりたいなあと思ったのがピアノを始めたきっかけです。毎週月曜日にピアノ教室に通って、家でも思い切って買った電子ピアノで、好きなときに、好きなだけ練習しています。トランペットは1人暮らしの集合住宅では迷惑以外のなにものでもなく…（「河原で練習しなよ！」と技師長は仰っていましたが河原まで毎日練習しに行くのは…笑）。

ピアノ教室には練習室にドドンとグランドピアノが置いてあり、レッスンをしていなければ借りることもできるそうです。電子ピアノとグランドピアノでは鍵盤の重さも音色も全く違い、家で練習しているときよりも教室での練習は上手く聞こえる気がします。

ピアノを始めて約3ヶ月、難しいところや苦手なことを徐々に実感しています。ひとつ目は、両手で別のメロディーを奏でるところ。段々と、右手と左手が独立して動くようになってきました。右手だけ、左手だけなら簡単に演奏できる楽譜も、両手で同時にとなった瞬間ごち

なくなってしまうます。教室で先生は上手く指導して下さるので、こんなふう

に練習すれば簡単なのか！と自分だけでは気づけない発見もたくさんあり毎回少しずつ上達するのが嬉しくて楽しく通っています。ふたつ目は、力加減の難しさ。私は薬指の力が弱くなりがちで、意識しすぎると今度は小指がもつれて

…。みつ目は、楽器によって「ド」の位置に違いがあるということ…。これについて少し語らせてください。

冒頭でお話しした通り、私は中学生で音楽を始めて、トランペットを担当していました。トランペットの「ドレミファソラシド」は、ピアノで弾くと「シ♭ドレミ♭ファソラシ♭」の位置になります。楽器によって譜面上の調が異なるため、違う楽器の奏者同士がドレミで会話すると、「何小節目のドが」「いやそこはミの♭だ」なんてことになるのです（そんなときはドイツ語読みにすると話が通じます）。トランペットの音でのドレミに慣れてしまっているため、楽譜を歌いながら弾くと歌の音程とピアノの音程が違うのです。頭がこんがらがって、あれ？本当に弾きたい音は何だっけ？なんてことが毎日起きています。

難しい、という話しかできませんでしたが文字数の限界を迎えそうなのでそろそろ終わります。私がピアノを始めることを職場で話したところ、主任が「みんなでコンサートするぞ！私はタンゴドラム（癒し系な音のする打楽器らしい）やりたい！」と意気込んでいますので、もし実現するときには皆様ぜひ災害医療センターまで遊びにいらしてください。（うそです）





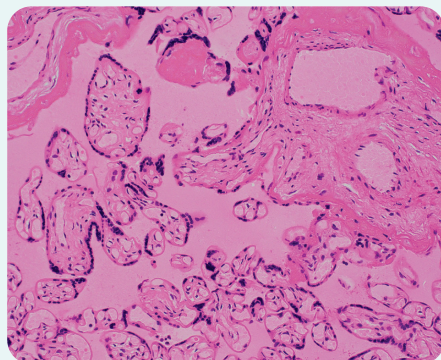
解答・解説は関信支部 HP に掲載いたします。

Question

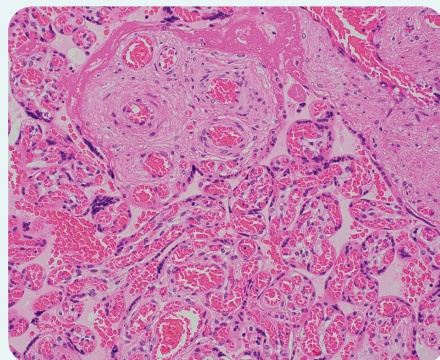
胎盤 HE 標本 (×20)

症例のアーチファクトの原因と考えられる不適切な作業工程はどれか？

1. HE染色におけるエオジンの過染色
2. 過脱灰による染色性の低下
3. 未固定状態で凍結(-20℃)融解
4. 未固定状態で数日間の冷蔵保存
5. 過固定による染色性の低下



症例



正常

関信支部よりお知らせ

令和4年秋の叙勲におきまして、元国立療養所栗生楽園 臨床検査技師長 渡邊 純夫 氏が保健衛生功労者として瑞宝双光章を、元国立がんセンター中央病院 臨床検査技師長 飛田 卓哉 氏が保健衛生功労者として瑞宝単光章を受賞されました。

渡邊純夫氏、飛田卓哉氏のお二人のこれまでのご功績を讃えるとともに、関信支部会員一同、心よりお祝い申し上げます。

令和4年度前期監査報告

令和4年9月26日(月)～10月3日(月)にクラウド内の共有ファイルを利用した令和4年度前期監査を実施いたしました。監査報告につきまして関信支部HPに記載しております。

右記QRコードより閲覧可能です。
関信支部HPパスワードを入力の上ご確認ください。



関信支部 HP

令和5年度国臨協関信支部 役員公募のお知らせ

令和5年4月の国臨協関信支部定期総会において役員の改選を行います。つきましては、国臨協関信支部役員推薦規定第3条により役員を公募いたします。

公募用紙は関信支部HPの「関信支部とは / 関信支部規約類」より「関信支部役員応募・推薦届出用紙」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、以下の提出先に郵送またはメールにて書類を提出してください。なお、自薦であっても会員1名の推薦人(役職は問わない)を必要としていますことを申し添えます。

役員推薦委員長 山川 博史
役員推薦委員 沼田 ますみ
役員推薦委員 山田 大助

締め切り: 2023年2月28日

提出先: 〒162-0051 東京都新宿区戸山1-21-1
東京都新宿区戸山1-21-1

検査部門内 国臨協関信支部事務局 宛

E-mail: kanshin@kanshinshibu.org

関信支部今後の予定

第51回国臨協関信支部学会 演題募集
令和5年2月頃開始予定

令和4年度国臨協関信支部主催第3回研修会
令和5年2月中旬予定

※詳細は関信支部HPをご確認ください。

人事異動(令和4年7月2日～令和4年11月1日付)

辞令 交付日	異動 内容	氏名	新施設名	新 職名	旧施設名	旧 職名
7月25日	採用	土屋 邦子	NHO西新潟中央病院	期間 職員		
7月30日	退職	伊藤 愛海			国立がん研究 センター中央病院	期間 職員
7月31日	退職	柘植 秋歩			NHO高崎総合 医療センター	期間 職員
8月1日	採用	鈴木 智一	国立がん研究 センター中央病院	主任 技師		
		島村しおり	国立国際医療 研究センター病院	技師		
8月16日	採用	宮川祐美子	国立成育医療 研究センター	非常 勤		
8月31日	退職	高橋あゆ子			NHO埼玉病院	主任 技師
		江原 尚希			国立国際医療研究 センター病院	非常 勤
9月1日	採用	江崎 美穂	NHO横浜医療センター	技師		
		知念 芹菜	国立国際医療研究 センター病院	非常 勤		
9月30日	退職	時田 和也			国立がん研究 センター中央病院	主任 技師
		野尻 美里			国立がん研究 センター東病院	技師
		永田 彩夏			国立国際医療 研究センター病院	技師

辞令 交付日	異動 内容	氏名	新施設名	新 職名	旧施設名	旧 職名
10月1日	昇任	相羽 拓矢	国立がん研究 センター東病院	主任 技師	国立がん研究 センター東病院	技師
10月1日	配置 換え	藤岡 瑞穂	国立がん研究 センター中央病院	主任 技師	国立がん研究 センター東病院	主任 技師
10月1日	採用	鈴木 敦子	国立がん研究 センター東病院	技師		
10月10日	採用	隠岐 博文	NHO災害医療センター	期間 職員	NHO災害医療センター	非常 勤
10月10日	退職	隠岐 博文			NHO災害医療センター	非常 勤
10月31日	退職	李 平淑			NHO横浜医療センター	技師
		染次 広大			NHO高崎総合 医療センター	期間 職員
11月1日	採用	内海 良太	国立がん研究 センター東病院	技師		

編集 後記

新年あけましておめでとうございます。2023年一発目の支部ニュースは楽しんでいただけたでしょうか？本年も会員の皆様のご協力を頂きながら、ともに関信支部を盛り上げていきたいと理事一同考えております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。さて、この原稿を作成している今現在は新型コロナウイルス第8波がはじまった最中ですが、今年こそは研修会や分科会等でWebだけではなく皆様と直接交流できる機会があることを願っております。寒さも本番に突入しておりますが、どうか体調管理に気を付けてお過ごしください。広報 渡辺